

FIT インバランス特例制度①における 太陽光電源・風力電源の発電電力量想定方法

FITインバランス特例制度①において、一般送配電事業者(当社)が、特例制度の適用を受ける小売電気事業者^{※1}に通知する太陽光電源・風力電源の発電電力量の想定方法について、電力広域的運営推進機関の送配電等業務指針に従い、以下のとおり公表いたします。

※1 特例制度の適用を受ける小売電気事業者とは、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法に定める特定契約を締結している小売電気事業者であって、特定契約に基づき受電する電気に係る発電計画の計画値の通知又は確認を受けることを希望する発電契約者をいう。

【想定方法】

- ① 気象予測に基づき、当社が、供給エリア全体の発電電力量(電源種別毎・30分単位)を想定
- ② ①で想定した供給エリア全体の発電電力量を、全小売電気事業者・送配電事業者の購入電力量のうち、当該小売電気事業者の購入電力量実績比率(電源種別毎、3ヶ月前実績^{※2})で配分する。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{小売電気事業者A} \\ \text{に配分する電力量} \\ \left(\begin{array}{c} \text{電源種別毎} \\ \text{30分単位} \end{array} \right) \\ \hline \end{array} = \begin{array}{|c|} \hline \text{エリア全体の} \\ \text{想定電力量} \\ \left(\begin{array}{c} \text{電源種別毎} \\ \text{30分単位} \end{array} \right) \\ \hline \end{array} \times \frac{\begin{array}{|c|} \hline \text{小売電気事業者Aの購入電力量} \\ \text{(電源種別毎、3ヶ月前実績^{※2})} \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \text{エリアの全小売電気事業者の購入電力量} \\ \text{および全送配電事業者の購入電力量} \\ \text{(電源種別毎、3ヶ月前実績)} \\ \hline \end{array}}$$

(注)新規に調達を開始し、3ヶ月前の購入電力量実績が無い場合は、電源種別毎の平均原単位(3ヶ月前実績ベース)に発電出力(kW)を乗じた値を購入電力量(3ヶ月前実績)とみなして、配分電力量を算定する。

$$\begin{array}{|c|} \hline \text{平均原単位} \\ \text{[電源種別毎]} \\ \hline \end{array} \text{ [kWh/kW]} = \frac{\begin{array}{|c|} \hline \text{エリアの全小売電気事業者の購入電力量および} \\ \text{全送配電事業者の購入電力量} \\ \text{(電源種別毎、3ヶ月前実績) [kWh]} \\ \hline \end{array}}{\begin{array}{|c|} \hline \text{エリアの小売電気事業者および全送配電事業者が} \\ \text{電気を購入している発電設備の出力計} \\ \text{(電源種別毎、3ヶ月前実績) [kW]} \\ \hline \end{array}}$$

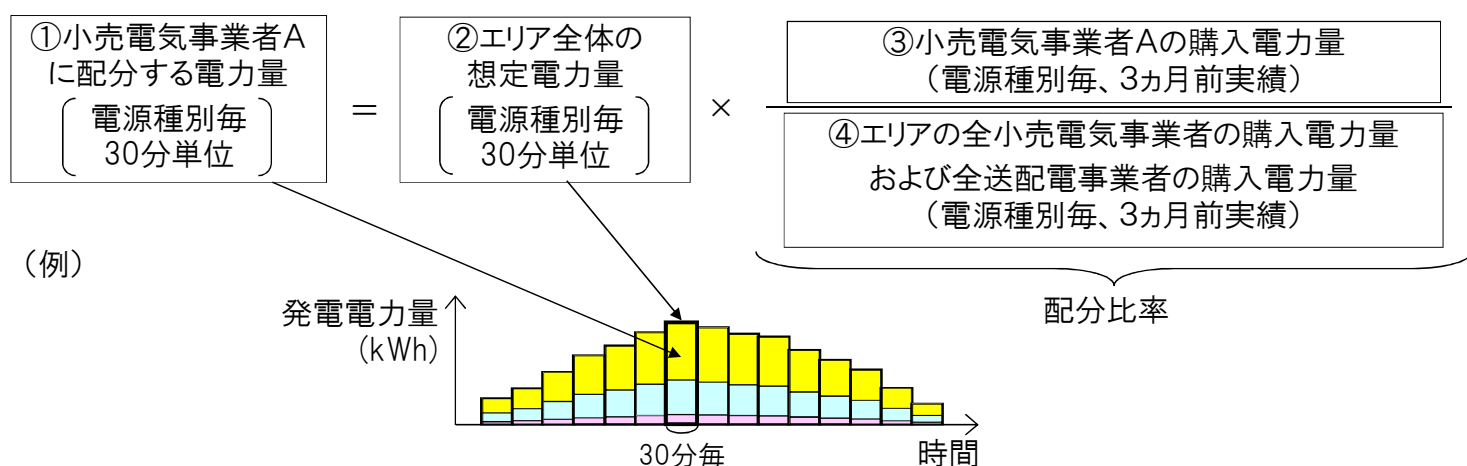
※2 実績集約に要する期間を考慮し、3ヶ月前実績(月間値)を使用

補足説明資料

1. 想定発電電力量の配分イメージ

1

○ 本文内【想定方法】に記載の想定発電電力量の配分式について、具体的なイメージは以下のとおりです。



	3ヶ月前の実績購入電力量 [万kWh]	配分比率	想定発電電力量 [kWh]				
			9:00	9:30	10:00	...	
小売A	500 (③)	50%	5	10	15	...	← ①
小売B	400	40%	4	8	12	...	
小売C	100	10%	1	2	3	...	
エリア計	1,000 (④)	100%	10	20	30	...	← ②

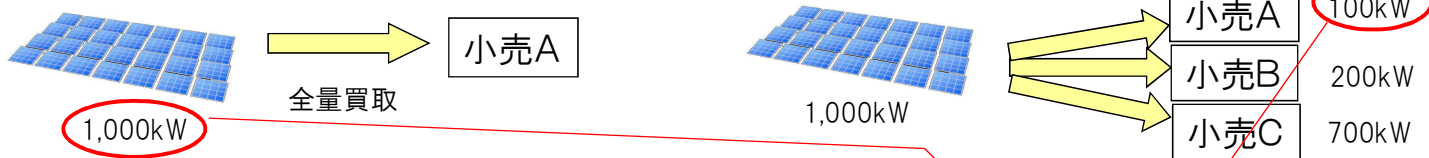
2. 3ヶ月前購入実績がない場合の取扱い

2

- 新規買取などにより、3ヶ月前の購入実績がない小売電気事業者については、本文内【想定方法】の(注)に記載のとおり、平均原単位に発電出力(下式⑤)を乗じた値を3ヶ月前の購入電力量とみなします。
- なお、部分買取の場合は、発電出力を各小売電気事業者の発電量調整供給契約上における契約受電電力(以下、発調契約電力)の比率で按分した値を小売事業者毎の発電出力(下式⑤)とみなして電力量を算定します。

〔全量買取の場合〕

〔部分買取の場合〕



平均原単位

$$\frac{\text{エリアの全小売電気事業者の購入電力量および全送配電事業者の購入電力量(電源種別毎)[kWh]}}{\text{エリアの小売電気事業者および全送配電事業者が電気を購入する発電設備の出力計(電源種別毎)[kW]}}$$

⑤小売電気事業者Aが電気を購入する発電設備の出力[kW]

新規買取分等で3ヶ月前購入実績がない場合は上式で算定

③小売電気事業者Aの購入電力量(電源種別毎、3ヶ月前実績)

①小売電気事業者Aに配分する電力量(電源種別毎、30分単位)

②エリア全体の想定電力量(電源種別毎、30分単位)

④エリアの全小売電気事業者の購入電力量および全送配電事業者の購入電力量(電源種別毎、3ヶ月前実績)

2. 3ヶ月前購入実績がない場合の取扱い (つづき)

3

〔部分買取の場合の例〕

前頁のとおり、新規部分買取の場合は、発電出力を各小売電気事業者の発調契約電力の比率で按分した値を小売事業者毎の発電出力とし、3ヶ月前購入電力量とみなす値を算定します。

(例1: 各小売電気事業者の発調契約電力の計=発電出力の場合)

発電設備の出力[kW]	1,200		
小売電気事業者	A	B	C
発調契約電力[kW]	100	200	900
小売事業者毎の算定に用いる発電出力(⑤)[kW]	100	200	900
平均原単位[kWh/kW]	100		
3ヶ月前の購入電力量(③)とみなす値[kWh]	10,000	20,000	90,000

発調契約電力がそのまま算定に用いる発電出力となります。

(例2: 各小売電気事業者の発調契約電力の計≠発電出力の場合)

発電設備の出力[kW]	1,200		
小売電気事業者	A	B	C
発調契約電力[kW]	300	300	1,200
小売事業者毎の算定に用いる発電出力(⑤)[kW]	200	200	800
平均原単位[kWh/kW]	100		
3ヶ月前の購入電力量(③)とみなす値[kWh]	20,000	20,000	80,000

発調契約電力比例で発電出力を按分します

A:B:C=1:1:4

⇒A:200kW、B:200kW、C:800kW

(注)部分買取の中に当社小売部門が含まれる場合は、発電設備の出力から他の小売電気事業者の発調契約電力を引いた残りの値を当社小売部門の発調契約電力とみなします。

※仮に左表Cが当社小売部門の場合、
⑤(C) = 1,200 - (300 + 300) = 600

- 発電出力の増減や、部分買取契約の変更などにより、同一電源からの購入電力が変更となる場合は、発調契約電力の変更を行ってください。
- 発調契約電力の変更に伴い、FIT特例制度①で配分する際に使用する実績発電電力量の補正※を行います。
※原則、発調契約電力の増減量×平均原単位 で補正します

[例：8月に発調契約電力を1,000kW→2,000kWに変更した場合]

発調契約電力変更

	7月	8月	9月	10月	11月	12月
発調契約電力 [kW]	1,000	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
3ヶ月前からの増減 [kW]	0	1,000	1,000	1,000	0	0
補正前実績	(4月) 10	(5月) 12	(6月) 14	(7月) 11	(8月) 20	(9月) 21
3ヶ月前購入実績電力量 [万kWh]						
契約増減分補正 (3ヶ月前からの発調契約電力増減 × 平均原単位)	—	10	9	11	—	—
補正後実績	10	22	23	22	20	21

発調契約電力2,000kW相当に
3ヶ月前購入実績電力量を補正

(参考) 発電量調整供給契約申込書 記入例

発電量調整供給兼基本契約申込書別紙【発電場所の概要】

(カタカナ) ※全角		マルマルカブシキカイシャ サンカケビル	
発電者の名称 (発電所名)	〇〇株式会社 △△ビル		
受電地点特定番号+半角22桁	1234567891234567891234		
発電場所住所	〒 123-4567		
受電地点 (財産責任分界点)	〇〇県〇〇市〇-〇-〇		
申込内容	(選択して下さい)		
発電量調整供給開始希望日	平成〇〇年〇〇月〇〇日		
託送供給等約款における発電者に関する事項の遵守について承諾いただいているか	(選択して下さい)		
契約受電電力	受電電力	今回: 500 kW	従来: kW
	受電電気方式	今回: 交流3相3線式	従来:
	受電電圧	今回: 6,000 V	従来: V
	計量電圧	今回: 6,000 V	従来: V
同時最大受電電力	今回: 1,990 kW	従来: kW	
予備送電サービスA	契約電力	今回: kW	従来: kW
	受電電圧	今回: V	従来: V
	計量電圧	今回: V	従来: V
予備送電サービスB	契約電力	今回: kW	従来: kW
	受電電圧	今回: V	従来: V
	計量電圧	今回: V	従来: V
自家消費電力 (所内電力含む)	今回: 0 kW	従来: kW	
発電設備容量 (合計)	今回: 1,990 kW	従来: kW	
パルス受給の要否	否		
発電者窓口連絡先	会社・所属	所属: 〇〇部	氏名: 〇〇 〇〇
	氏名	〇〇 〇〇	電話番号 03-5678-1234
主任技術者名連絡先	会社・所属	〇〇電気管理事務所	所属: △△部
	氏名	△△ △△	電話番号 04-1234-5678
発電B Gコード	12345	発電種類	(選択して下さい)
固定価格買取制度の利用有無	(選択して下さい)		
本申込に関連する接続検討回答書	JK_16GHZ〇〇〇〇〇〇		
その他特記事項	・受電地点が (複数買取or全量買取) となります。 ・自動検針方式: 携帯方式希望 ・設備認定IDを記載 ・系統コードを記載 ・地点の追加 (新設) 申込みにおいては、需給側が接続供給申込み済みであることを明記下さい。		

発電量調整供給契約における
契約受電電力の記入場所

発電設備の出力

- 部分買取の場合、発電所の実績発電電力量は、各小売電気事業者が**広域機関に提出した発電計画値と優先順位に基づき、各小売電気事業者に配分**されます。
- 発電計画値が同じ値であっても、優先順位によって配分される実績発電電力量が異なりますので、優先順位の誤入力がないようご注意ください。
- FIT特例①における計画作成方法の詳細については、広域機関ウェブサイト内「広域機関システムによるFIT特例1の計画作成について」(https://www.occto.or.jp/oshirase/hoka/2016_0201_fit_tokurei_1_keikaku_sakusei.html)等をご参照ください。

FIT特例①計画提出フローの概要

時刻	入力者	計画等の提出	
～前々日12時	小売電気事業者	ステータス1ファイル提出	・基本情報入力
～前々日16時	一般送配電事業者	ステータス2ファイル提出	・発電計画(想定)値を各小売電気事業者毎に配分
～前日12時	小売電気事業者	ステータス3ファイル提出 →翌日計画に自動連携	・必要に応じて配分された発電計画値を発電所毎に展開 ・優先順位を入力
実需給	—	—	・部分買取の場合は、上記で提出したステータス3の発電計画値と優先順位に基づき実績発電電力量が配分される

計画提出(実需給前日)

〔小売Aの計画〕

	X発電所
優先順位	1
発電計画[kWh]	100

〔小売Aの計画〕

	X発電所
優先順位	99
発電計画[kWh]	100

〔小売Bの計画〕

	一括入力	X発電所	Y発電所	...
優先順位	99	99	99	...
発電計画[kWh]	12,345※	0	0	...

〔小売Bの計画〕

	一括入力	X発電所	Y発電所	...
優先順位	99	99	99	...
発電計画[kWh]	12,345※	0	0	...

※FIT特例①の想定発電量は、ステータス2で小売電気事業者毎に一括で配分され、必要に応じてステータス3で各発電所毎に配分する

発電実績

X発電所の実績発電電力量が1,000kWhだった場合



優先順位上位(小売A)に計画値＝実績値で配分され、残りを優先順位下位(小売B)に全て配分

発電実績 [kWh]	X発電所
小売A	100
小売B	900
計	1,000

優先順位同順位であるため、計画値に比例して配分(小売Aに全て配分)

発電実績 [kWh]	X発電所
小売A	1,000
小売B	0
計	1,000